日本大衆党除名問題に対する当面の方針

「旧新党準備会排除の理由「党戦線方針」なるものを四畳半式に押

し通すことによって事実上反共産主義を表明しそれ日本大衆党は実に

旧無産大衆党系幹部の潜排除によって輝ける七党合同による

大衆的無産政党としての反動的社会民主主義の階級的裏切党

にと堕落せしめた。

彼等は日本大衆党における天下り的幹部的支配を利用して統党的

目的を遂行して党を同中反動派幹部の一反動支配の機構に従属せし

めんとしてある。党は党左派に動揺を与えん。一方闘争的労農民の日常闘争は

完全に阻止妨害されつゝある。

イ、かゝる十六名反動派幹部に対する全闘争の完全なる放棄

ロ、かつ重化する日本共産党大衆党に対して何等の闘争もなさ

ざるのみかむしろ前衛を孤立化し反動支配の強化を支持

しつゝある

ハ、全国町村会選挙戦を全く労働者農民の大衆的政治闘争

の舞台に利用せずしてむしろ反動的なる方向への全党と大衆

の階級的進出を阻止し「協調主義」「合法主義」の毒悩をあま

ねく浸潤しつゝある

ニ、更に最近この反動的裏切の総決算として平野畫を起こし一党とし

ての旧日労、旧日農両党の反動的社会民主主義幹部は陰密に

乃至暗黙の諒解のもとに反動戦線「日本」一派ないしは中安達会

一体と通謀し「労働者農民党」結成陰謀によって日本大衆党の反

動的下部を分割し更に他方一俣法として「労働者農民党」と日本

大衆党とに併置せしめんとしつゝある（労農新党問題、此の委員会

を見よ）

東西の五月十四日の官僚的指導下にある「全日本農民組合」の